



動物から人に感染する病気



パストツレラ症に御注意下さい

原因は？

パストツレラ属菌という病原体が、何らかの理由で体内に侵入すると発症することがあります。パストツレラ属菌は、犬や猫などには普通に存在する菌です。口の中などに存在するので、犬や猫に咬まれたり、同じ食器を使って食事したりすると人間に感染することがあります。

犬や猫はこの菌がいても症状の出ないことが多いのですが、人間に感染した場合、特に高齢者や基礎疾患のある人など、免疫力が弱い人に症状が出ることがあります。

ほかの動物のパストツレラ症として、ウサギの鼻炎や豚の萎縮性鼻炎、鳥の急死などがあります。



症状は？

犬や猫に咬まれて感染した場合、咬まれたところの腫れや痛み、発熱などが起こり、骨髄炎や関節炎などを引き起こすこともあります。口から感染した場合は、気管支炎や肺炎などを引き起こします。免疫機能が低下していると重症化しやすく、敗血症や骨髄炎を起こして死亡することもあります。



治療法は早めに医療機関を受診し、消毒や抗生物質の投与を受けることです。

予防は？

犬や猫など、動物に噛まれないようにします。噛まれた場合は傷口を洗い、消毒します。異常があればすぐに医療機関を受診してください。動物とキスしたり、食器を共有したりするなど、動物との過剰な接触はやめましょう。動物とふれあったら、必ず手洗いをしましょう。



動物から人に感染する病気は他にもあります。また、人から動物に病原体を感染させてしまう可能性もあります。動物とは、節度のある付き合いを心がけてください。